かんたん セットアップ

IPSiO CX3000 RICOH

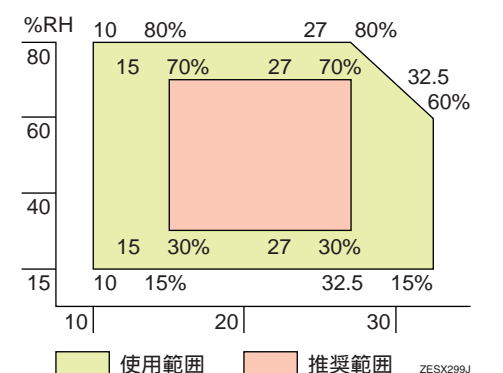
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「使用説明書<保守・運用編>『安全上のご注意』」をお読みください。

1 設置環境、電源・アースを確認する

1 設置環境を確認します。

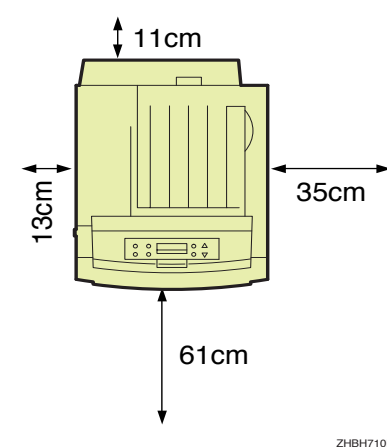
水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。

- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。

寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてから設置作業を行ってください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、目安として図のようなスペースを確保してください。

重要

- 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。
- 直射日光の当たるところ
- エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たるところ
- ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近いところ
- 高温、高湿、低温、低湿になるところ
- 加湿器の近く

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

2 電源を確認します。

プリンターの電源は100V、13A以上、50/60Hzの電源を使用してください。

3 アースを確認します。万一漏電した場合の感電や火災を防止するため、アース線を以下のいずれかに接続します。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

重要

- ガス管や水道管には絶対に接続しないでください。火災やガス爆発の原因になります。

⚠警告

- アース接続してください。アースが接続していないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事者に相談してください。

⚠警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

2 同梱品を確認してプリンターを取り出す

⚠注意

- プリンターを取り出すときは、2人以上で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり乱暴に扱って落としたりするとけがの原因になります。

1 梱包箱を開けて同梱品を取り出し、すべて揃っていることを確認します。不足品や不具合があった場合は、購入された販売店までご連絡ください。

重要

- インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについては「9 パソコンとプリンターを接続する」を参照してください。

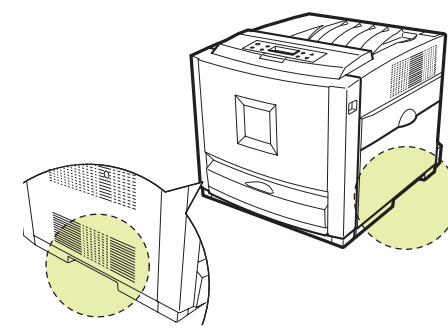
- ☐ 使用説明書の紹介
- ☑ かんたんセットアップ（本書）
- ☐ 使用説明書<保守・運用編>
- ☐ 使用説明書<オプション設置編>
- ☐ CD-ROM
- ☐ マイバンク＆QA登録票（梱包箱上部に貼られています。）
- ☐ お客様登録はがき（仮保証書）
- ☐ 保守契約書
- ☐ リコー製品サービス相談窓口一覧
- ☐ IPSiO コールセンター シール
- ☐ 名刺ケース
- ☐ カラー濃度調整カード
- ☐ トナーカートリッジ（ブラック）
- ☐ トナーカートリッジ（イエロー）
- ☐ トナーカートリッジ（シアン）
- ☐ トナーカートリッジ（マゼンタ）
- ☐ 感光体ユニット（ブラック）
- ☐ 感光体ユニット（カラー）
- ☐ 廃トナーボトル
- ☐ フェライトコア（2個）
- ☐ 2P電源コード

補足

- カラー濃度調整カードは本体に同梱の使用説明書<保守・運用編>と一緒に保管しておいてください。

2 プリンターを覆うビニールを開き、固定材を取り除きます。

3 左右の取っ手をつかんで、プリンターを持ち上げます。

本機の側面にある運搬用の取っ手を持ち、2人以上でゆっくりと持ち上げてください。

重要

- プリンターを低い位置に設置するときは、指や服をプリンターに挟み込まないようにしてください。

⚠注意

- 前カバーを開くときは、給紙トレイが引き出されていないことを確認してください。手をはさんでけがをすることがあります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みのトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

3 固定材を取り除き、廃トナーボトル、感光体ユニットをセットする

1 本機の右カバーを開けます。

2 廃トナーボトルを図の位置に取り付けます。

3 廃トナーボトルをロックします。

4 内部カバーを固定している左右のグリーンレバーをそれぞれ矢印の方向に外し、レバーのロックを解除します。

5 内部カバーをしっかりと止まる所まで持ち上げます。

6 感光体ユニットを袋から取り出します。

手順は感光体ユニットブラックで説明します。

7 感光体ユニットに巻いてあるテープを下方向に引き抜き、上のカバーを取り外します。

重要

- 感光体ユニットの底のカバーはまだ取り外さないでください。
- 感光体ユニットを袋から取り出したら、はやめに取り付けてください。

8 感光体ユニットを取り付ける位置を確認します。

①・・感光体ユニットブラック

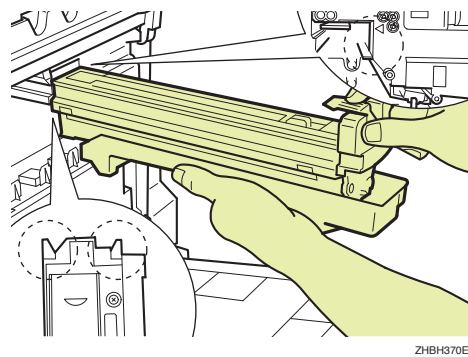
②・・感光体ユニットカラー

裏へつづく

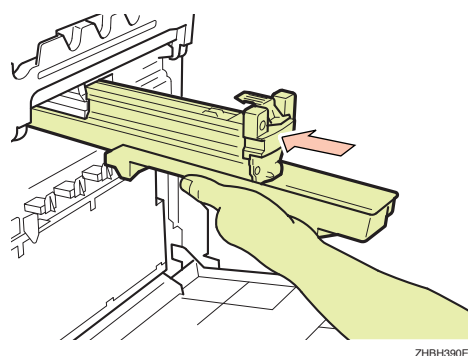
Printed in Japan 2003年6月 G081-8502

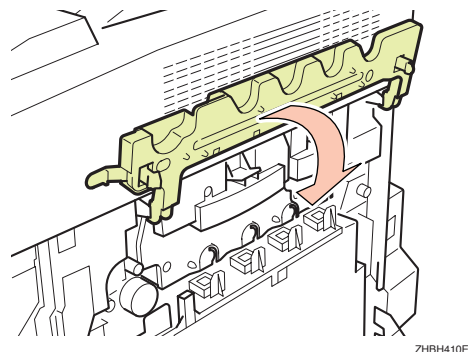
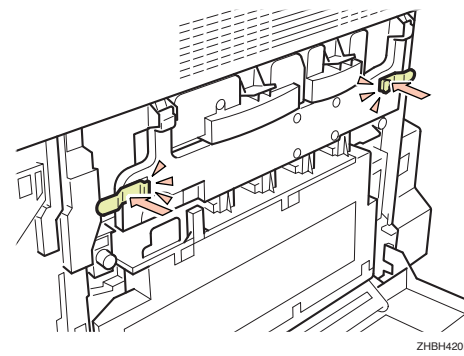
9 感光体ユニット先端の緑の矢印とプリンター内のレールを合わせます。

重要

❑ 次の手順に進む前に、緑の矢印がしっかりとレールと合っているか必ず確認してください。

10 感光体ユニットの前をゆっくりと押してカバーの上を滑らせながら、止まるまで差し込みます。

重要

❑ 現像ユニットがきちんとセットされていないと、一部の色が抜けた画像が印刷されるなど、印刷品質に影響しますのでご注意ください。

11 手順8～10を繰り返して、感光体ユニットカラーをセットします。

12 内部カバーをゆっくりと下ろします。

13 内部カバーの両端付近を押し、内部カバーを固定します。

14 本機右カバーをゆっくりと閉めます。

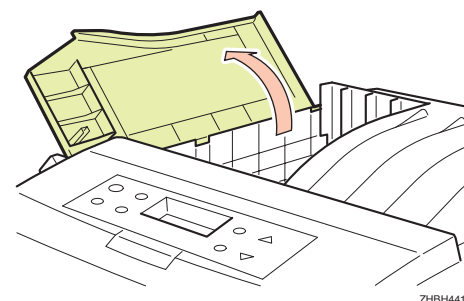
4 トナーをセットする

警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

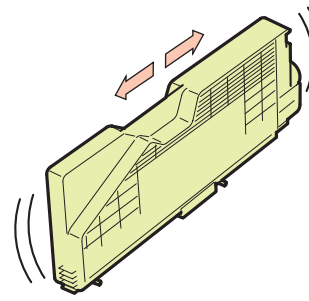
注意

- トナー（使用済みのトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

1 プリンター本体の左上カバーを開けます。

2 トナーカートリッジを取り出します。

補足

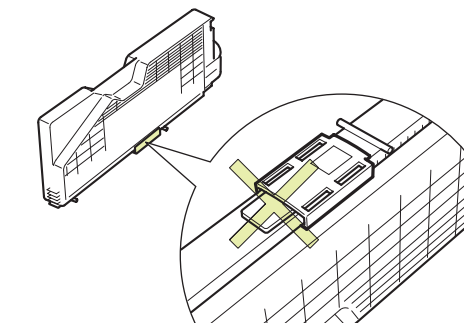
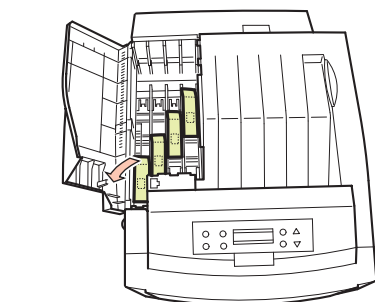
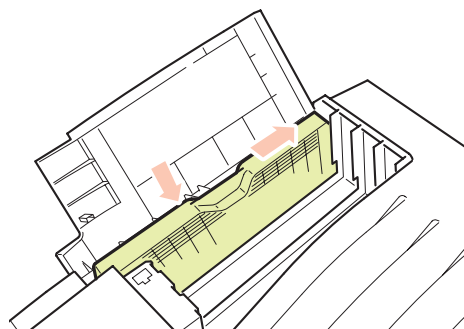
❑ トナーカートリッジは袋にいれたままにしてください。

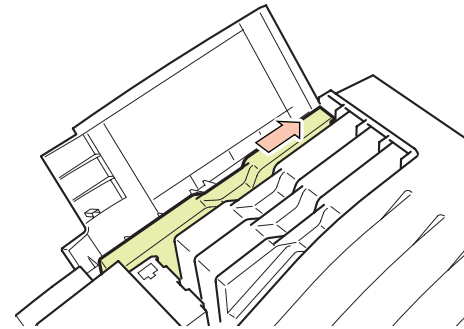
3 取り出したトナーカートリッジをビニール袋に入れたまま、前後に10回ほど振ります。

イラストでは例として、ブラックのカートリッジを示しています。

補足

❑ トナーカートリッジは振り終わった後に、袋から取り出します。

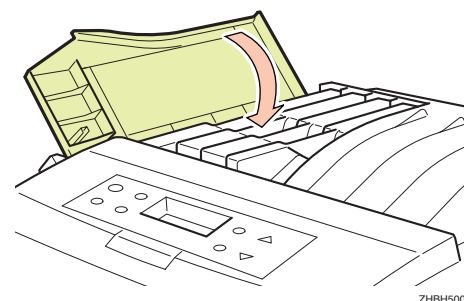
重要

❑ トナーカートリッジ下側のシャッターは開かないでください。トナーが飛び散る恐れがあります。

4 梱包テープを取り外します。

5 トナーの色と取り付け位置を確認し、新しいトナーカートリッジをゆっくりと垂直に差し込みます。

イラストでは例として、イエローのカートリッジを示しています。

6 トナーカートリッジを矢印の方向に差し込みます。

7 手順2～6を繰り返して、他のトナーカートリッジをセットします。

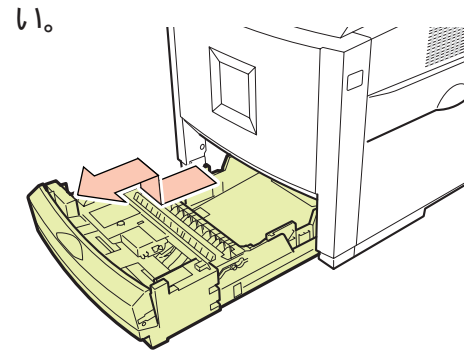
補足

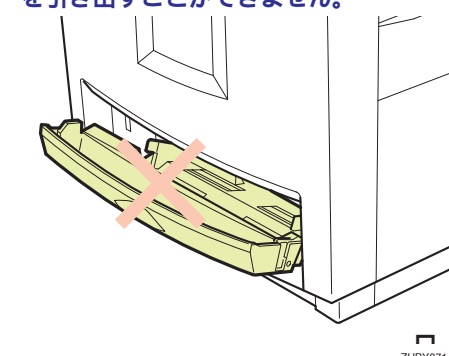
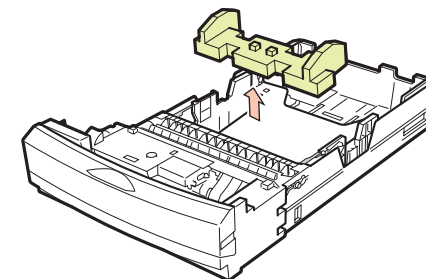
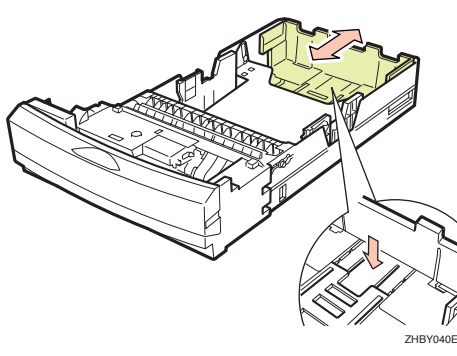
❑ トナーカートリッジはどの色から取り付けても構いません。

8 プリンター本体の左上カバーを閉めます。

補足

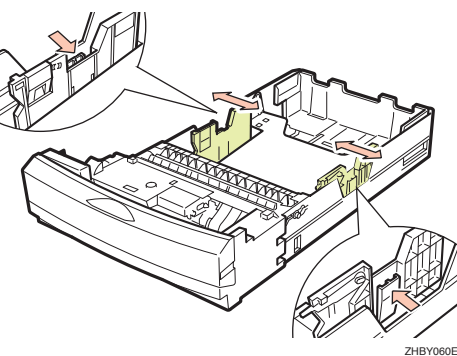
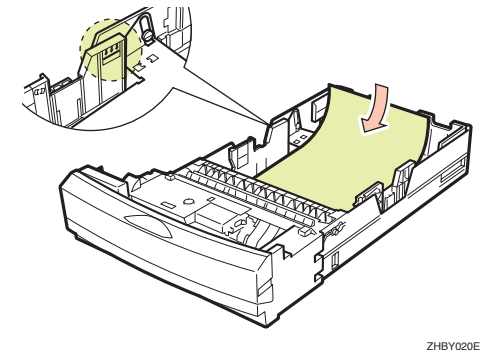
❑ トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、左上カバーを閉めることができません。

5 用紙をセットする

1 給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。次に、トレイを少し持ち上げてから引き抜きます。引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

補足

❑ 手差しトレイが開いていると、給紙トレイを引き出すことができません。

2 梱包テープと梱包材を取り外します。

3 「PUSH」を押し、リアガイドを調節しながら、用紙のサイズを設定します。

重要

❑ リアガイドを調節する時には、必ず「PUSH」と刻印された部分を押してください。

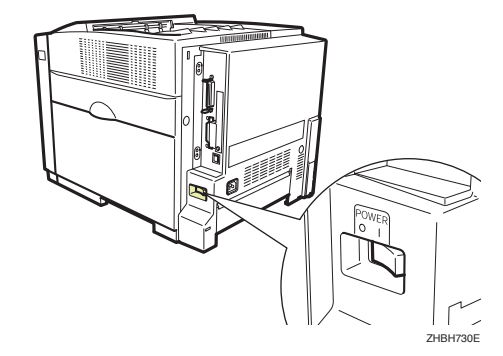
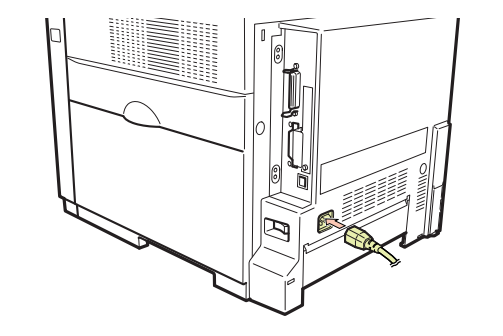
4 サイドガイドを調節し、用紙のサイズを設定します。

5 用紙を印刷する面を上にして、揃えてセットします。

重要

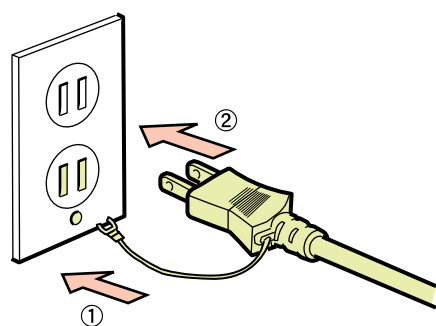
❑ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。

❑ セットした用紙が、左右のサイドガイドにある金属製の爪より下にあることを確認してください。

6 給紙トレイを閉めます。きちんとセットされるまで押し込んでください。

6 電源ケーブルを接続する

1 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2 背面の電源コネクターに、電源ケーブルを接続します。

かんたんセットアップ 2/2 へつづく

3 アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。

重要

- ❐ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❐ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

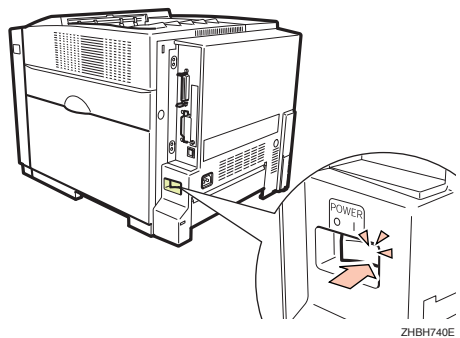
⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

7 テスト印刷をする

プリンターが正常に印刷できることをテスト印刷で確認します。テスト印刷は、本機の動作を確認するもので、パソコンとの接続状態を確認するものではありません。

ここでは、システム設定リストを印刷します。

1 本機の電源を入れます。

操作パネルのディスプレイに「トナーホキュウチュウ」のメッセージが約5分間表示されます。表示が以下の画面に変わるまでお待ちください。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

2 【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

```
<メニュー>
 ヨウシセッテイ
```

3 【▲】または【▼】キーを使用して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 テストインサツ
```

テスト印刷する内容を選択する画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを使用して「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<テストインサツ>
1. システムセッテイリスト
```

次の画面が表示されシステム設定リストが印刷されます。

```
インサツチュウデ゛ス
```

重要

- ❐ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は、使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」を見てエラーの対処をしてください。

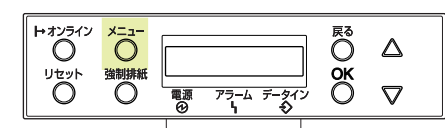
5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

8 印刷濃度を調整する

プリンターをより良好な状態で使用するために、印刷濃度を調整します。

1 【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

```
<メニュー>
 ヨウシセッテイ
```

2 【▲】または【▼】キーを使用して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 チョウセイ／カンリ
```

3 【▲】または【▼】キーを使用して「ノウドチョウセイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<チョウセイ／カンリ>
2. ノウドチョウセイ
```

次の画面が表示されます。

```
<ノウドチョウセイ>
チョウセイシートインサツ
```

4 【OK】キーを押します。

以下のメッセージが表示されたら、【OK】キーを押します。

```
チョウセイシートインサツ
OKキーデ゛シ゛ッコウシマス
```

```
インサツチュウデ゛ス
```

5 印刷された印刷濃度テストシートの色と、同梱のカラー濃度調整カードの色を比べます。

補足

- ❐ カラー濃度調整カードとテストシート枠内の印刷濃度が同じときは、印刷濃度を調整する必要はありません。
- ❐ カラー濃度調整カードの印刷濃度が、テストシート枠より上の濃度と同じ場合は、「-」で、下の場合は「+」で印刷濃度を調整します。

6 【▲】または【▼】キーを使用して調整したい色を選択し、【OK】キーを押します。

```
<ノウドチョウセイ>
1. ブラック
```

7 【▲】または【▼】キーを使用して濃度調整をし、【OK】キーを押します。

```
<ブラック>
 (−5 +15)
```

補足

- ❐ 印刷濃度は、ブラックで-5～+15、その他の色で-10～+10の21段階で調整できます。数値をプラス方向に増やすと濃く、マイナス方向に増やすと薄くなります。
- ❐ 【▲】または【▼】キーを押すごとに1つずつ数値が増減します。

8 他の色の濃度調整をする場合は、手順6,7を繰り返します。

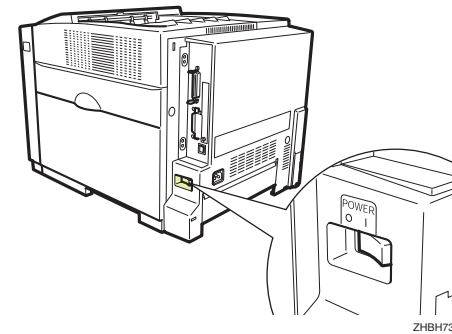
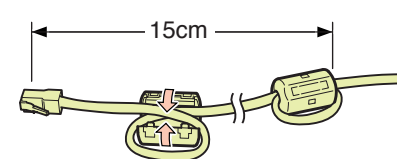
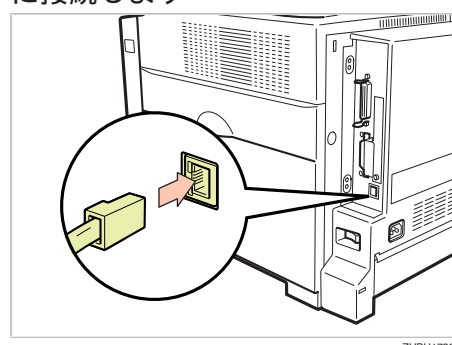
9 すべての設定が終わったら【オンライン】キーを押します。

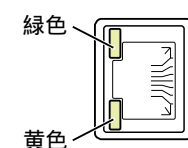
通常の画面に戻ります。

```
インサツデ゛キマス
RPCS
```

9 パソコンとプリンターを接続する

イーサネットケーブルで本機とネットワークを接続する場合

1 本機の電源を切ります。

2 本機にはEthernet用インターフェースケーブルに取り付ける2個のコアが同梱されています。ケーブルのプリンター本体側のコネクターのすぐの位置と、コネクターから約45cmの位置（①）に、図のような1重の輪を作り、コアを取り付けます。

3 本体背面のコネクターに、イーサネットケーブルを接続し、もう一方をHUB（ハブ）などのネットワーク機器に接続します

4 本機の電源を入れます。

5 イーサネットケーブルを接続した本体背面のコネクターのランプ（LED）を確認します。

黄色は、100BASE-TX動作時は点灯し、10BASE-T動作時は消灯します。
緑色は、ネットワークに正常に接続している場合に点灯します。

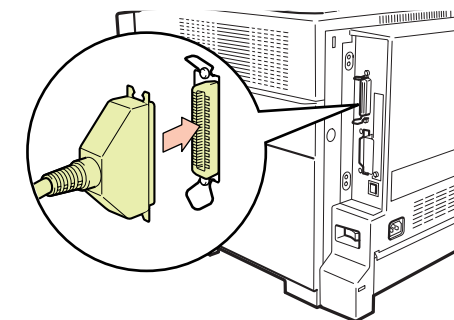
6 「10 操作パネルから設定する」に進みます。

パラレルケーブルで本機とパソコンを接続する場合

重要

- ❐ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- ❐ インターフェースケーブルをお買い求めの際は、使用説明書＜システム設定編＞「付録」の「関連商品一覧」を参照してください。
- ❐ 電波障害を起こすことがありますので、インターフェースケーブルは、シールドケーブルをお使いください。

1 本機とパソコンの電源を切ります。

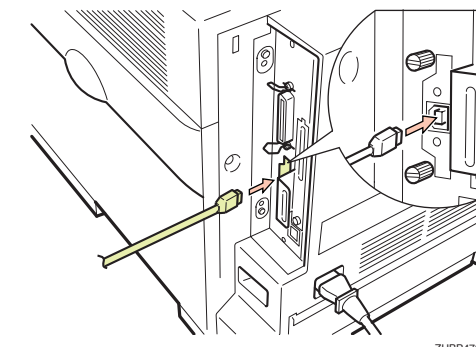
2 インターフェースコネクターにパラレルケーブルを接続して両側の金具で固定し、もう一方をパソコンのインターフェースコネクターに接続します。

3 本機とパソコンの電源を入れます。

4 「11 ソフトウエアをインストールする」に進みます。

USB ケーブルで本機とパソコンを接続する場合

1 本機とパソコンの電源を切ります。

2 本機背面のコネクターにUSB ケーブルの小さい方のコネクターを接続し、もう一方をパソコンのインターフェースやUSB ハブなどに接続します。

USB ケーブルはご使用になるパソコンに合わせて別途お買い求めください。
ケーブルについて詳しくは、使用説明書＜システム設定編＞「関連商品一覧」を参照してください。

3 パソコンの電源を入れます。

4 本機の電源を入れます。

補足

- ❐ USB接続は、Windows 98SE/Me、Windows 2000/XP、MacOS 9.x、MacOS Xに対応しています。
  - Windows 98SE/Meのサポート速度はUSB1.1相当です。
  - Macintoshでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。

5 Windows 98SE/Meの場合は、USB Printing Supportとプリンタードライバーをインストールします。
Windows 2000/XPの場合はプリンタードライバーをインストールします。

それぞれのインストール方法は、使用説明書＜クライアント編＞「USBインターフェースを使う」を参照してください。

裏へつづく

10 操作パネルから設定する

本機をネットワークに接続したときは、使用するネットワーク環境に応じて必要な項目を操作パネルで設定します。

ネットワーク設定メニューで設定できる項目と工場出荷時の値は以下のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.DHCP	ムコウ
2.IPアドレス	011. 022. 033. 044
3.サブネットマスク	000. 000. 000. 000
4.ゲートウェイアドレス	000. 000. 000. 000
5.NWフレームタイプ	自動選択
6.有効プロトコル	すべて有効
7.イーサネット速度	自動設定

ここでは、TCP/IPプロトコルを使用する設定を説明します。その他の接続をご使用の場合は、使用説明書＜環境別セットアップガイド＞を参照してください。

1 【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

＜メニュー＞
ヨウシセッテイ

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜メニュー＞
インターフェースセッテイ

インターフェース設定項目を選択する画面が表示されます。

3 使用するプロトコルの設定を必要に応じて切り替えます。

補足

❒ 工場出荷時の設定は全てのプロトコルが有効です。

❶【▲】または【▼】キーを押して「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜インターフェースセッテイ＞
3．ネットワークセッテイ

❷【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜ネットワークセッテイ＞
6．ユウコウプロトコル

❸【▲】または【▼】キーを押して使用するプロトコルを表示させ、【OK】キーを押します。

＜ユウコウプロトコル＞
1．TCP／IP

❹【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜TCP／IP＞
＊ユウコウ

補足

❒ 現在の設定値を示す項目の左側には「＊」が表示されます。

約2秒後に有効プロトコルを設定する画面に戻ります。

4 工場出荷時はDHCPが無効になっています。DHCP環境で本機をお使いになる場合、手順5に進みください。
固定したIPアドレスで本機をお使いになる場合、DHCPを無効にしてから必要な項目を設定する必要があります。手順6に進みください。

重要

❒ DHCPが有効になっていると、以下の機能の設定を行うことができません。
・IPアドレス
・サブネットマスク
・ゲートウェイアドレス

❒ ネットワーク設定について詳しくは、ネットワーク管理者の方にお尋ねください。

5 DHCPを有効に切り替えます。

❶【▲】または【▼】キーを押して「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜インターフェースセッテイ＞
3．ネットワークセッテイ

❷【▲】または【▼】キーを押して「DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜ネットワークセッテイ＞
1．DHCP

❸【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜DHCP＞
＊ユウコウ

補足

❒ 現在の設定値を示す項目の左側には「＊」が表示されます。

❒ 約2秒後ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

❹ 手順8へお進みください。

6 プリンターに割り当てるIPアドレスを設定します。

補足

❒ 設定するIPアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

❶【▲】または【▼】キーを押して「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜ネットワークセッテイ＞
2．IPアド゛レス

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

❒ 変更の必要がないときは【OK】キーを押すと次のフィールドに移動します。

❒【▲】または【▼】キーを押し続けると値が10ずつ変わります。

❒ ひとつ前のフィールドに移動するときは【戻る】キーを押します。

❷ カーソルのあるフィールドの値を【▲】または【▼】キーを押して変更します。

IPアド゛レス
199．　0．　0．　0

❸【OK】キーを押します。

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

❹ ❷〜❸を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。

7 「1.IPアドレス」の設定と同様の手順で、「2.サブネットマスク」と「3.ゲートウェイアドレス」の設定をします。

重要

❒ サブネットマスクとは、IPアドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。設定する値はネットワーク管理者に確認してください。

❒ ゲートウェイアドレスとは、別のネットワークのワークステーションとのやり取り（印刷や情報の取得）を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルータのアドレスです。設定する値はネットワーク管理者に確認してください。

補足

❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

8 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

インサツデ゛キマス
RPCS

9 システム設定リストを印刷して設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、「7 テスト印刷をする」を参照してください。

11 ソフトウエアをインストールする

同梱のCD-ROMから簡単にソフトウエアをインストールすることができます。

[おすすめインストール]ボタンをクリックすると、RPCSプリンタードライバーがパソコンにインストールされ、IPSiO CX 3000が使用できる状態になります。

TCP/IPの場合、Ridoc IO Naviもインストールされます。

必要な条件は以下のとおりです。

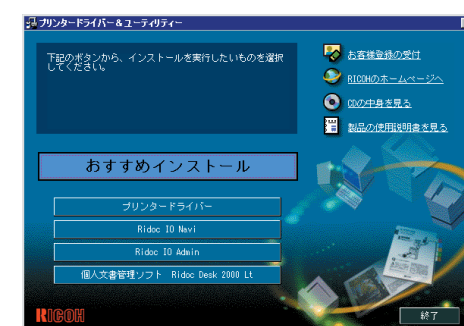
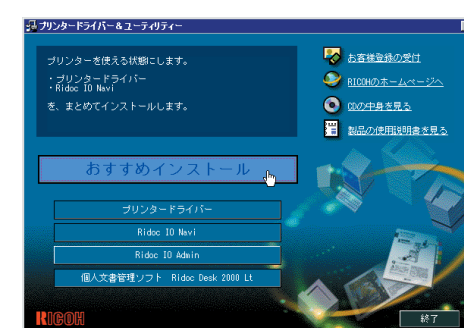
- **OSがWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、またはWindows NT4.0である**

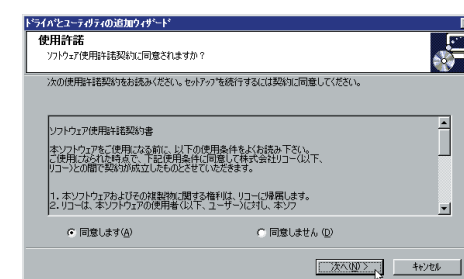
また、TCP/IPの場合に必要な条件は以下のとおりです。

- **イーサネットケーブルで本機とネットワークが接続されている**
- **TCP/IPプロトコルが設定されている**
- **本機とパソコンにIPアドレスが設定されている。**

●おすすめインストール

1 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 [おすすめインストール]をクリックします。

[使用許諾]ダイアログが表示されます。

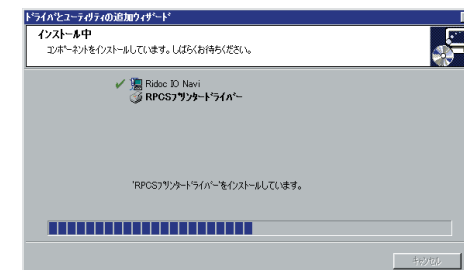
3 ソフトウエア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ]をクリックします。

4 [プリンタ名]をクリックし、使用する機種を選択します。

補足

❒ TCP/IPの場合、[接続先]にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。

❒ パラレル接続の場合、[接続先]にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

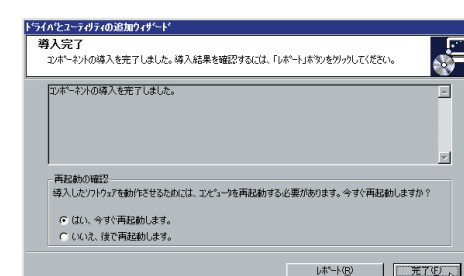
5 [インストール]をクリックします。

次の画面が表示され、プリンタードライバーがインストールされます。

導入完了ダイアログ画面が表示されます。

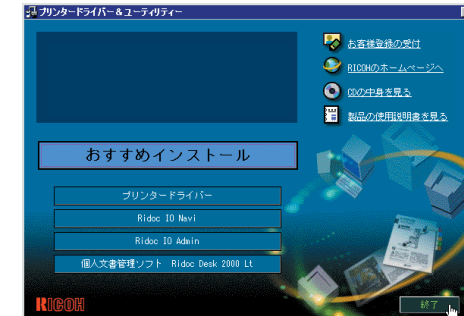
補足

❒ TCP/IPの場合で、[接続]にIPアドレスが表示されているプリンターを選択すると、Ridoc IO Naviもインストールされます。

❒ Windows 2000、Windows XPの場合、インストールの途中でメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい]または「続行」をクリックしてインストールを続行してください。

6 [完了]をクリックします。

補足

❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

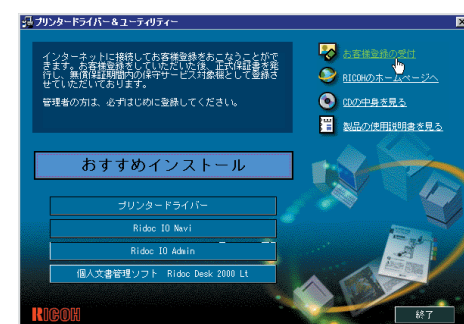
7 [終了]をクリックします。

これでインストールは終了です。

●お客さま登録

インターネットでお客さま登録をすることができます。

補足

❒ インターネットに接続している場合に利用できます。

1 [お客様登録の受付]をクリックします。

ご使用のブラウザが起動し、お客様登録のページが表示されます。

2 ページ内の指示に従って登録します。

3 登録終了後、ブラウザを終了します。

4 [終了]をクリックします。

これでお客様登録は終了です。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店、または最寄りのサービス実施店にご相談ください。
修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター　IPSiO ダイヤル」にご連絡ください。

0120 FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）
●受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5　リコービル 〒107-8544
Tel:(03)3479-3111（代表）

Printed in Japan　2003年6月　G081-8502